



茨城労働局発表
令和3年10月1日(金)

【照会先】

茨城労働局労働基準部健康安全課
健康安全課長 土田 容子
産業安全専門官 土井 昌利
(直通電話) 029-224-6215

死亡労働災害の増加に歯止めをかける要請を実施

～ 経営者団体・労働災害防止団体等に総点検を要請しました～

茨城労働局(局長 下角 圭司)は、第13次労働災害防止推進計画(以下、「第13次防」という。計画期間:平成30年4月1日～令和5年3月31日)に基づき労働災害が増加傾向にある業種を重点業種として集中的な取組を行うなど、労働災害の減少に向けた各種施策を推進しているところです。

しかしながら、第13次防の4年目を迎えた今年の茨城県内における労働災害による現時点での死亡者数は、すでに昨年1年間の死亡者数18人を超える19人の尊い命が失われるという極めて憂慮すべき事態となっています。

さらに、休業4日以上死傷者数も、令和3年8月末現在で1,984人と、前年同時期と比較し277人の増加(16.2%増)という厳しい状況です。

このような状況の中、今年の残り3か月間において、これ以上の死亡災害の増加に歯止めをかけるためには、それぞれの事業場において、経営トップの参加のもと、安全衛生活動の総点検を実施するなどにより、安全衛生管理体制を確立させ、労使が一体となって計画的かつ継続的な安全衛生活動に取り組むことが重要です。

そのため、茨城労働局では、県内の経営者団体及び労働災害防止団体等(別紙)に対して、局長メッセージとともに、当局において作成したチェックリストを活用する等により、各事業場が安全衛生管理体制を確立させ、計画的かつ継続的な安全衛生活動に取り組むことについて周知するよう要請しました。

添付資料

- 資料1 これ以上の死亡災害を発生させないために(茨城労働局長メッセージ)
- 資料2 チェックリスト(製造業用)
- 資料3 チェックリスト(建設業用)
- 資料4 茨城県内の労働災害発生状況(8月末速報値)

資料5 令和3年 死亡災害事例（9月29日現在）

別紙 要請先一覽